

第1WG 評価コメント

評価者のコメント(評価シートに記載されたコメント)

事業番号1-8 河川改修事業(直轄、補助)

個別箇所の評価を明確にして、事業の重点化を図ることによって緊急性の高い事業を推進しつつ、コスト縮減を図る必要がある。

優先順位を明らかにしないで、国民は安心安全を確認できないのではないかと。

事業の優先順位、特に補助事業を精査すべき。

事業ごとの年便益を見直し上で、優先順位付けを明示すべき。

事業の説明責任をより鮮明にもつ姿勢が必要だ。

当年度に限り予算を大幅削減し、本質的な必要性、緊急性を見直しをしてから事業を実施すべき。

地方に移譲できる事業の部分があれば地域住民の意向をより反映されるべき。

スーパー堤防は廃止すべき。

堤防が切れると最大災害が発生することから、住民参加の上で議論し、改修をすすめるべき。

WGの評価結果

**個別箇所毎の事業評価、
コスト縮減のインセンティブの導入等
により予算の見直しを行う。**

(廃止 0名 自治体/民間 0名)

見直し行わない 0名 見直し行う:ア 11名 イ 6名 ウ 5名)

とりまとめコメント

参加者 11 名の全員が「見直しを行う」という選択となった。この中では、個別箇所の評価を積極的に行うべきとの意見がもっとも多く、さらにはコスト縮減に関する指摘も行われた。当ワーキングとしては、「この結果を踏まえて「見直しを行っていくべき」との結論に至りました。